



宮崎県立富島高等学校 定時制

所在地：〒883-0052 宮崎県日向市鶴町3丁目1番43号
電話番号：(0982) 52-4075 FAX番号：(0982) 52-4075
ホームページ：<https://tomishima.ed.jp/tei/>



〈入学して欲しい生徒像〉

商業に関して、興味・関心を持ち、①専門性を深め、簿記・ビジネス文書・情報処理等の商業に関する検定、資格取得を強く希望している者。

② 働きながら学び、行事・HR活動等に主体的・積極的に参加する意志がある者。

1 在籍者数・学級数 (令和4年5月1日現在)

| 商業科 | 学 年 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 計 |
|-------|------|---|---|---|---|----|----|
| | 在籍者数 | 男 | 3 | 4 | 5 | 4 | 16 |
| 女 | | 3 | 1 | 2 | 1 | 7 | |
| 計 | | 6 | 5 | 7 | 5 | 23 | |
| 学 級 数 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | |

2 学校及び学科の特色

(1) 働きながら学ぶ学校です

校訓である「自立・友愛・創造」の精神のもと、生涯学習社会を生き抜く基礎的・基本的な「力」を育成することを教育目標にしています。

(2) 単位制・二学期制を実施しています

本校は、修得した単位数の累積で卒業できる単位制を導入しています。また、平成18年度より二学期制(前・後期制)を実施しています。二学期制により、学期ごとに単位を認定する分割履修制度を行っています(科目によっては通年での履修となるものもあります)。

(3) 三修制を実施しています

延岡青朋高校の通信制課程で修得した単位と当校の修得単位を合わせて卒業に必要な単位数にし、3年間で卒業する制度もあります。

(4) 実務代替制度による単位認定を実施しています

働きながら学ぶ生徒に対し、日々の勤労を体験学習として評価し、希望者に対して、商業科目の単位として1年間に1単位、4年間で最大4単位を認定することができます。

(5) 技能審査の成果の単位認定を実施します

技能審査は、高度な検定等を取得した場合、単位の一部として認定する制度です。

(6) 各種検定の資格取得を目指します

簿記・電卓・ワープロ・情報処理など、商業に関する各分野についての知識と技術を習得させ、経済社会の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てることに加え、英検・漢検など各種の資格取得に挑戦し、例年、多くの生徒が取得しています。

(7) 授業は1日4時間(45分授業)実施しています

SHR開始が17時30分、4限目の終了は21時00分です。授業の間の休み時間は5分間です。

(8) 部活動・行事

令和3年度は男女卓球部、男女バドミントン部の活動がありました。行事については宮崎県内の定時制・通信制高校が集う『定時制通信制体育大会』(6月)・『生活体験発表大会及び文化の集い』(10月)に参加します。生徒会行事として、歓迎遠足(昨年度は感染拡大防止のため日程を変更して秋に行いました)、文化祭、陶芸教室、クラスマッチ、卒業生を送る会等を実施しています。

(9) その他

- ① 申請により、教科書が無償で支給されます。ただし、仕事をしている生徒に限られます。
- ② 各種奨学金制度や学生割引が受けられます。
「宮崎県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励資金」
(就業している生徒が対象です)
月額 14,000円(年額168,000円)
貸与期間 1年ごとに継続申請して最高4年間まで
返還の免除 卒業すると、返還の義務が免除されます。
- ③ 学校納付金(PTA会費、生徒会費など)は1年間で約23,000円程度です。(令和4年度入学生)このほかに、年度ごとに教科書代等が必要となります。

3 卒業後の進路状況

| 年度 | 卒業者数 | 就職 | 進学 | 未定 | その他 |
|-----|------|----|----|----|-----|
| R 2 | 4 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| R 3 | 13 | 2 | 9 | 2 | 0 |

主な進路先(R2、R3)

進学(県外)九州情報大学、専門学校九州デザイナー学院 など

(県内)宮崎県産業技術専門学校、日向看護高等専修学校 など

就職(県内)社会福祉法人玉峰会 特別養護老人ホーム牧水園、株式会社Misumi
株式会社大三商行 など

4 年間行事・学校生活風景



歓迎遠足



陶芸教室



文化祭(定時制屋台村)



生徒会レクリエーション

5 学校からみなさんへ

本校は、夜間定時制高校です。「高校でしっかり学校に通って学びたい」と考えている「資格取得などに意欲のある人」、そして「働く意欲のある人」の入学を期待しています。